

全附連０７－０３２
令和７年６月吉日

国立大学附属学校
校園長 副校園長
ＰＴＡ会長・教育後援会会長・保護者 各位

一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会
会 長 宮本 昌尚
実行委員長 世古 丈人
副実行委員長 小川 浩司

一般社団法人全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会（全附Ｐ連） ＰＴＡ研修会 第１６回全国大会 二次案内

開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～認め合い、共に時代を切り拓こう～

拝啓 深緑の候、貴校園におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は全附Ｐ連の活動に格別のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年の９月２７日、２８日に開催いたしました第１５回全国大会は、対面とオンデマンド配信でたくさんの方に参加していただきました。皆様からご感想をいただき、目下、今後に生かすべく検討を重ね、第１６回全国大会に向け、全附Ｐ連が一丸となって企画・準備を進めているところでございます。

つきましては、第１６回全国大会の概要を下記のとおりご案内いたしますので、多くの方にご参加いただきたくお願い申し上げます。

なお、プログラムの一部は後日配信いたします。詳細は、後日お知らせいたします。

敬具

記

- 開催日程 令和７年９月２６日（金）９月２７日（土）
- 主 催 一般社団法人 全国国立大学附属学校ＰＴＡ連合会（全附Ｐ連）
協 力 全国国立大学附属学校連盟（予定）
全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会（予定）
後 援 文部科学省（予定）
日本教育大学協会（予定）
- 参加対象者 全国国立大学附属学校の保護者及び教職員
- 開催目的
 - 日本の公教育を国立大学及び附属学校と共に支える全国規模のＰＴＡ組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。
 - 日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。
 - 全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。

5. 開催場所 リーガロイヤルホテル東京

東京都新宿区戸塚町1-104-19 TEL: (03) 5285-1121(代)

※ホテルのシャトルバス(22名定員)はマイクロバスタイプのため、大変混み合いますので、できる限り、公共の交通機関をご利用ください。



アクセス

東京駅からお越しの方

- ・連絡通路から大手町駅まで約5分、大手町駅から地下鉄東西線で高田馬場駅まで約15分、高田馬場駅から都バスで約10分
- ・連絡通路から大手町駅まで約5分、大手町駅から地下鉄東西線で早稲田駅まで約10分、早稲田駅から徒歩約7分

電車をご利用の場合

- ・地下鉄東西線「早稲田」駅
3a出口から徒歩約7分
- ・地下鉄有楽町線「江戸川橋」駅
1b出口から徒歩約10分
- ・都電荒川線「早稲田」駅
徒歩約3分

都営バスをご利用の場合

- ・「高田馬場」駅より (10分間隔 所要時間10分)
④ ⑤乗り場 上野公園行き (上69系統)、九段下行き (飯64系統) から早稲田下車
② 乗り場 早大正門行き (学02系統) から早大正門下車
- ・「新宿」駅より (20分間隔 所要時間30分)
西口ロータリー② 乗り場 早稲田行き (早77系統) から早稲田下車
- ・「江戸川橋」駅より (6分間隔 所要時間2分)
地下鉄有楽町線「江戸川橋」駅 1b出口すぐ早稲田行き (上58系統)、小滝橋車庫前行き (上69系統、飯64系統) から早稲田下車

6. 参加費

学校登録料 (幼稚園、特別支援学校を除く全校種) ・30,000円 (税込) /校
個人登録料 (特別支援学校・学級) ・1,000円 (税込) /人
(幼・小・中・高・中等・義務教育学校) ・4,000円 (税込) /人
情報交換会 ・10,000円 (税込) /人

*学校登録は、連盟登録における学校単位でお願いします。

(単位PTAあたりではありません。)

*幼稚園、特別支援学校及び特別支援学級のみが参加の場合は
学校登録料はいただきません。

*宿泊、交通手段等の手配・斡旋は、全附P連事務局では行いません。

7. 参加申込方法

アドレス <https://zfpr-zenkoku.com/>

からお申し込みいただけます。

※登録・払込方法等の詳細は、9頁をご参照ください。



8. 参加登録申込期間

令和7年7月7日（月）13時 ～

令和7年7月18日（金）17時

- *参加者概数把握のため、上記日程内にご登録をお願いします。
- *会場の都合上、収容できない人数の登録があった場合は、人数制限をさせていただきます場合もございます。あらかじめご了承ください。
- *全附P連（主催者）側にて、会場（リーガロイヤルホテル東京）内の保険は出席者全員にかけておりますが、参加者の自宅から会場までは、保険の対象外となります。
- *申込みの追加は、申込み期間を過ぎましても受付いたしますが、請求書等の手続きについては、大会終了後にさせていただきます。

9. 払込日程

- ※今年度は、大会前のお振込みになります。**
各学校園に請求書を送付させていただきます。
請求書受け取り後、8月22日までに振り込みください。
※お申込みをされた方は、研修会に参加されなくても、お支払いいただきます。
キャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。

10. その他

- *本大会では、SDGsの観点から、当日の資料などは電子化しております。
資料等は会場でお渡しするQRコードを読み取っていただき、ご自身のスマートフォンやタブレット端末などでご覧いただくことができます。

11. お願い

- *弊社全国大会参加のため、ご予約いただく宿泊代や乗車券など交通機関のチケット代等に関して、全附P連として負担することはございません。
ご理解の上、お申し込みください。

12. お問い合わせ

全附P連研修委員会

kensyuu.zenfu@zenfuren.org

■スケジュール■（予定）

□第1日目 9月26日（金）

12:00	13:00	14:10	14:30	16:10	16:30	18:00	18:30	20:30
受付	開会行事 (70分)	休憩	基調講演 (100分)	休憩	分科会 (90分)	休憩	情報交換会 (120分)	

< 受付（一般） > 12:00～12:50

- *プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく12:30までにご参集ください。
- *スーツケース等のお手荷物は、会場のクロークにお預けいただけます。

I. 開会行事（1日目）（13:00～14:10）

- ・開会行事
- ・来賓祝辞
- ・省庁行政説明

II. 基調講演（14：30～16：10）

一人ひとりが みんなたいせつ

～作品に託す願い～

くすのき しげのり 氏 （児童文学作家）



1961年徳島県生まれ。絵本『おこだでませんように』『メガネをかけたら』（ともに小学館）が、全国青少年読書感想文コンクール課題図書となる。『メロディ』『えところ』『ともだちやもんな、ぼくら』等、小学校（2024年度改訂）・中学校（2025年度改訂）の教科書において、小学校1年生～中学校3年生の全学年の教科書に作品が採用・掲載される。また、『あなたの一日が世界を変える』（PHP研究所）『Life』（瑞雲舎）『わたしがはやくねるわけはね……』（小学館）等200作品を超える著作は海外でも広く読まれている。全附P連 作文・絵作文コンクール審査委員長。

[くすのきしげのり公式サイト](https://www.kusunokishigenori.com/) <https://www.kusunokishigenori.com/>

III. テーマ別分科会（16：30～18：00）

校種を超えた4つのテーマに分かれた分科会を開催します。

<分科会1>

子どもたちと共に非認知能力を育むために

中山 芳一 氏 （教育活性家）



A11 HEROs 合同会社代表／IPU環太平洋大学特命教授／元・岡山大学教育推進機構准教授
日本非認知能力協会会長／学研あすがくアドバイザー／JTB教育新規事業コンサルタント
岡山県教育委員会夢育アドバイザー／文部科学省進路指導審査会委員
京都府第3次教育振興プラン検討会議委員…などの役職を務めている。
また、地元の岡山県はもとより、大阪府茨木市・門真市・貝塚市・太子町、京都府長岡京市・綾部市、滋賀県栗東市、長野県長野市、埼玉県所沢市・三芳町などの自治体におけるアドバイザーや顧問も務める。さらに、活動は次々と広がり、TBS日曜劇場『御上先生』の教育監修やブータン王国教育活性プログラムなども行っている。

主な著書には、『教師のための「非認知能力」の育て方』（2023年、明治図書）、『学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす』（2018年、東京書籍）、『東大メンター「ドラゴン桜」に学ぶやりたくないことでも結果を出す技術』（2021年、日経BP）、『認知能力×非認知能力

を育てる数学授業&教材10のしかけ』(2024年、明治図書)など多数。

1976年1月生まれ。岡山大学教育学部卒業後、1999年当時は岡山県内に男性たった一人といわれた学童保育指導員として9年間在職。そこで、学童保育の研究が将来的な学童保育の充実に必要不可欠と確信し、教育方法学研究の道へ方向転換する。以降は、幼児教育から学校教育まで、様々な教育現場と連携した実践研究を進める中、岡山大学で学生たちのキャリア教育や正課外活動支援の主担当教員となる。そして、20年以上に及ぶ小学生と大学生に対する教育実践経験の中から、「非認知能力の育成」という共通点を見出し、全国各地で非認知能力の育成を中心とした教育実践の在り方を提唱している。

全国各地の学校や保育現場を中心に現場の教職員と協働して様々な非認知能力に関する課題解決を行っており、各校園の授業や取組の質的な改善、さらには荒れていた学校の立て直しなどにも貢献する。年間の研修や講演は300件、継続的にかかわってきた学校園は200か所を超える。

<分科会2>

子どもたちのいのちを守るために

～ASUKAモデルと体系的な救命教育の推進～

桐淵 博 氏



【役職等】

公益財団法人日本AED財団理事

文部科学省「学校安全の推進に関する有識者会議」委員(令和7年3月まで)

日本臨床救急医学会会員

元さいたま市教育委員会教育長

【略歴】

1953年群馬県生まれ 東京学芸大学B類数学科卒

埼玉県大宮市(現さいたま市)立中学校数学科教師

さいたま市立中学校校長

さいたま市教育委員会教育長

埼玉大学教育学部教授 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター研究員

【著書等】

『「せんせい」と呼ばれる仕事』(学芸みらい社)

『「ASUKA モデル」と小学校からの救命教育の推進』(日本AED財団HP)、『中学校数学科教育実践講座理論編』(監・編(株)ニチブン)

『2020校長教頭必携』(監(株)世界通信)

<分科会3>

Me t a 社と総務省による連携企画 ICTリテラシーについて

F a c e b o o kやI n s t a g r a mを運営し、昨今はティーンアカウントの導入など青少年の保護に努めているMe t a社と、青少年のインターネット利用環境整備を行っている総務省による特別企画。Me t a社は、総務省が行う官民連携での意識啓発プロジェクト「DIGITAL POSITIVE ACTION」にも参画している。SNS時代を生きる子どもたちの安全を守るために、ICTリテラシーや情報モラルの基本を学ぶことができる機会を提供する。

<分科会4>

障がいのある児童生徒に有効な学校での防災準備

北村 弥生 氏



東京大学保健学科卒、医学博士

国立障害者リハビリテーションセンター研究所で、

2004年から「障害者の災害準備」の研究に携わる。

定年退職後は、NPO支援技術開発機構と長野保健医療大学で研究を継続するとともに、地元の町会防災部長として地域での要支援者支援の実践に取り組む。

＊テーマの選定と参加登録にあたって（お願い）

◎各学校園から1人でも多くの皆様に会場でのご参加をいただきたく存じます。

各分科会に偏りのないようバランス良く参加・ご登録のうえ、皆様に情報交換していただければ幸いです。

◎会場の都合上、収容できない人数の登録があった分科会は、人数制限をさせていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

※休憩時間は、全附P連で行っている各種活動等の上映を予定しております。

また、学校の子供たちが作成した記念品の販売を予定しております。是非お立ち寄りください。

IV. 情報交換会（18：30～20：30）

今年度は、立食ビュッフェ形式（フリードリンク）で開催します。

地域、校種を超えての交流をお楽しみください。

□第2日目 9月27日(土)

8:30	9:00	9:40	10:00	11:30	11:45	12:30	12:40
受付	附属セミナー1 (40分)	休憩	基調講演 (90分)	休憩	附属セミナー2 (45分)	閉会行事 (10分)	

< 受付 > 8:30～8:50

V. 附属セミナー1 (9:00～9:40)

・省庁行政説明

VI. 基調講演 (10:00～11:30)

子どもたちとAIの時代を生きる

—変化を楽しみ、未来を育てる力—

美馬 のゆり 氏 (学習環境デザイナー／学習科学者)



公立はこだて未来大学システム情報科学部 教授
日本学術会議 第26期・第27期会員
電気通信大学 監事

東京から函館に移住して約23年。気候・食・文化の豊かな函館の大ファン。電気通信大学(計算機科学)、ハーバード大学大学院(教育学)、東京大学大学院(認知心理学)で学ぶ。博士(学術)。公立はこだて未来大学及び日本科学未来館の設立計画策定に携わる。設立後は、大学では教授、科学館では副館長(2003～2006)を務める。

副館長任期終了後、函館に戻り地域密着型の一連のイニシアティブを開始。2008年に科学コミュニケーション促進と科学リテラシー向上のためのボランティア組織「サイエンス・サポート函館」を立ち上げる。この活動で、平成26年度文部科学大臣表彰科学技術賞(理解増進部門)を受賞。2023年に学生と共に、科学技術に関するより良い学習方法や教材等を提供することで、教育や経済といった社会的な格差の是正や科学技術教育の拡充に寄与することを目的とするNPO法人「学び足しデザイン工房」を創設。

NHK経営委員(2013～2016)のほか、中央教育審議会委員、科学技術・学術審議会委員などを歴任。2021年9月から1年間、カリフォルニア大学バークレー校人工知能研究所及び人間互換人工知能センター客員研究員。2023年4月から東京大学大学院情報学環 客員教授、東京家政学院大学 特別招聘教授、電気通信大学 客員教授。2023年10月から日本学術会議会員(第26期・第27期)。2024年9月から電気通信大学監事(非常勤)。

代表著作:『AIの世界へようこそ:未来を変えるあなたへ』(Gakken)、『AIの時代を生きる:未来をデザインする創造力と共感力』(岩波書店)、『未来を創る「プロジェクト学習」のデザイン』(公立はこだて未来大学出版)、『学習設計マニュアル』(北大路書房)、『The Challenge for Higher Education Reform in Japan by Seven Samurai. In S. Cheung et al. (Eds.) Blended Learning: Enhancing Learning Success. ICBL 2018. Lecture Notes in Computer Science』

(Springer)、『理系女子の生き方のススメ』(岩波書店)、『「未来の学び」をデザインする—空間・活動・共同体』(東京大学出版会)、『不思議なネットワークの子どもたち—コンピュータの向こうから科学者が教室にやってきた!』(ジャストシステム)。

VII. 附属セミナー 2 (11:45～12:30)

- ・ P T A活動事例発表
- ・ 学校活動事例発表
- ・ カンガルー保険紹介
- ・ 全附 P 連紹介

VIII. 閉会行事 (12:30～12:40)

- ・ 大会宣言
- ・ 閉会の言葉

全附P連 P T A研修会 第16回全国大会 参加申し込み方法

1. 参加登録（申し込み）方法

アドレスからの参加登録

QRコードからの参加登録



<https://zfpr-zenkoku.com/>

- *申し込みは、学校単位で、申し込み責任者お一人が管理をお願いします。
- *パスワードは、各学校園にて新たに設定をお願いします。
また、忘れないよう適切な管理をお願いします。
万一、忘れた場合は、参加申し込みフォームの最下段「パスワードを紛失された方」よりお手続きをお願いいたします。
- *初回入力や登録内容の確認・変更は、全附連事務局を通さず、各学校側でできます。
参加者情報を入力いただくと、参加者情報確認画面・請求金額確認画面等が確認でき、入力情報の自動返信もあります。

2. 参加登録申込期間

令和7年7月7日（月） 13時 ～令和7年7月18日（金） 17時

3. 参加費

学校登録料（幼稚園、特別支援学校を除く全校種）・30,000円（税込）／校
個人登録料（特別支援学校・学級）・・・・・・・・・・1,000円（税込）／人
（幼・小・中・高・中等・義務教育学校）・・・・・・4,000円（税込）／人
情報交換会・・・・・・・・・・・・・・・・・・10,000円（税込）／人

4. 費用の払込期間

令和7年8月22日（金）

※申し込み締め切り後に各学校園へ請求書を送付させていただきます。

※請求額は、お申込み参加登録の額となります。

キャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。

払込手数料は貴校園にてご負担ください。

5. 締め切り後の登録について

- *申込みの追加は、申込み期間を過ぎましても受付いたしますが、請求書等の手続きについては、大会終了後にさせていただきます。

6. その他

教育後援会会長会については、全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会からのご案内の参照をお願いいたします。

7. お問い合わせ窓口

研修委員会 kensyuu.zenfu@zenfuren.org

- *本研修会に関するご質問は、全附連事務局ではなく、まずはこのメールアドレスへ E-mailにてお問い合わせください。